

10/26

加西市代表農会長会

- 今の鳥獣対策では、柵をしてイノシシを育てることにしかない。金網柵に補助金を出すよりも、猟友会と協力して一網打尽にする方法を考えてほしい。
- また、ジビエ料理では個体数は減らないため、多可町 cambio のような施設ができればと思う。
→建設経済厚生委員会でも視察に行き、cambio と同じような施設や、他地域の猟友会に捕獲してもらうことも良い方法ではないかと考えています。
- 水稻と動物被害の共済の両方に入っているが、水稻共済に全て加入していないと動物被害の補償がされないため、分離できないのかと思う。



○ジャンボタニシの被害がまた出ている。対策をお願いしたい。



○加西市北部は段々畑が多く、法面が2、3mあり草刈も大変である。中山間地指定を受けることはできないのか。

→指定には面積の規定があり難しいと考えます。

○空き家に大阪からの移住があったが、宅地は所有者移転できても、農地は農業適格者に該当せず取得できない。定住したい人に対して農地法の緩和はできないのか。

→空き家対策の一環として、加西市でも17アールから農地を取得できるようになりました。農業適格者も30アールからもう少し下げてもいいのではないかと考えているところです。

○農地の宅地化ができればと思うが、転用も認めてもらえない。そのため、人が流出してしまう。優良農地を確保しても後継者がいないため、線引きを見直すべきだ。

→農地の宅地化は建設経済厚生委員会でも研究していますが、農振法・農地法があるため特別指定区域を活用して進めるしかなく、難しいところです。

10/27

加西市防犯協会 加西市青少年補導委員連絡協議会



○防犯カメラの設置場所について。

→平成27年度にハイツ第一交差点、谷交差点に設置しており、28年度には古坂交差点、北条交番前交差点、中野交差点、三口交差点、フラワーセンター前交差点、満久交差点、網引交差点、宇仁小学校西交差点、西在田小学校前交差点を予定しています。

○朝妻工業団地内の防犯カメラの設置について、依頼後の回答がないとのことだが。

→県の補助メニューを活用しているため、県の予算関係や、県下全域から要望が集中するため、時間を要する場合があります。担当課へ問い合わせをしていただければと思います。

○防犯カメラを一台つけるだけでも大きな抑止力になる。他の支出よりも大事ではないか。

○防犯灯はブルーライトに犯罪抑止効果があるといわれていたが、LED化の理由について。

→青色防犯灯の犯罪抑止効果については、科学的には証明されていません。同じワット数ではLEDの方が明るいため、節電とあわせて採用されています。

○防犯灯設置の流れや要する期間について。

→危機管理課への申請によって、一般的には約60mの間隔で設置されます。交差点や見通しの悪い場所などに年間50～70灯設置されています。また、県道の場合は、県への申請や関電との調整に時間を要する場合もあり、遅れている場合は、担当課へ設置時期などをご確認いただければと思います。

○補導委員連絡協議会の活動は限界にきており、関係団体の整理統合の検討も必要ではないか。各団体の活動状況を確認してほしい。

